

令和 6 年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	東広島市立黒瀬中学校	校長	鈴木 晶雄	生徒指導主事	岡 真吾
取組事例名	『年間を通した縦割り活動』				

1 取組の設定

取組を実施する意図及びねらい	取組を通して育てたい児童生徒像
本校生徒指導の目標である、『自ら考え判断し、主体的に行動できる生徒の育成』を達成するために、4 年目となった縦割り活動を年間通して効果的に取り組むことで、主体的に取り組む態度や共感的な人間関係を築く力を身に付けることをめざした。 また、縦割りのつながりを通して、学校の文化や伝統を継承していく。	生徒会を中心に縦割り活動を行い、異年齢の集団の中で相互協力させることで、生徒の主体的な活動を向上させる。 また、上級生がリーダーとなり後輩を思いやり、後輩が先輩を尊敬しながら活動を進めていくことで、共感的人間関係を育む。



2 展開

取組の具体的内容	取組の創意工夫
(1) 年間を通した縦割り活動を 3 月に生徒会が計画し、主体的に取り組む行事等を仕組む。 (2) 体育大会や縦割り遠足に向けて、生徒会を中心に実行委員を選出し、生徒主体で企画・運営させ、教職員はサポート役に回る。団長を中心に、目標やスローガンを設定することで、見通しを持った活動につなげる。 (3) 縦割りの団ごとに集まる場面を設定し、先輩から後輩へ、後輩から先輩への感謝や思いやりを伝える機会を作る。このことにより、共感的人間関係を育むとともに自己存在感を与え、自己指導能力の向上につなげる。 (4) 行事終了後の取組を大切にし、行事のねらいやつきたい力を再確認させる。今後の生活にどうつなげていくか振り返りや集会を使って確認を繰り返す。 (5) 来年度に向け、各行事での縦割り活動だけでなく、委員会活動や学校生活の課題解決でも縦割りで行える取組を計画していく。	生徒にめあてをもたせるために ・ リーダー育成 生徒会を中心にリーダー研修等を行い、めあての確認やその伝え方などを工夫した。行事ごとにスローガンや目標を横断幕として作成した。 生徒の意欲を高めるために ・ リーダーからのメッセージボード 行事ごとに、団のリーダーが日々の目標や振り返りを記入できるボードを作成し、意欲向上と主体的な活動に繋げた。 ・ 系統的な掲示物 異年齢関係の中でメッセージを送りあい、感謝の気持ち・あこがれや尊敬の思いを伝え、自己肯定感の向上に繋げた。 生徒の頑張りを認め、価値付けるために ・ 結団式、解団式、リーダー研修会 各行事で全体や団ごとに取組やリーダーを評価する場面を設け、振り返りを行った。 ・ 地域や保護者への情報発信 HP や通信で生徒の頑張りを発信し、その評価を生徒に伝え、自己肯定感の向上と自信に繋げた。



3 成果と課題

学校生徒評価アンケート 1 月の『学校行事（遠足・体育大会等）に積極的に取り組んでいる。』の項目に、肯定的回答が 93.7% と目標の「90% 以上」は超えているが、前期との比較では数値が微減している。年間を通して、やりがいや達成感が向上していくように再度年間計画を見直していく。また、生徒会や上級生を中心に、行事への取り組み方や団ごとの創意工夫などについて年々質が高まることで、共感的人間関係の高まりや集団への所属感や連帯感の深まり、自己有用感の向上につながっている。
--